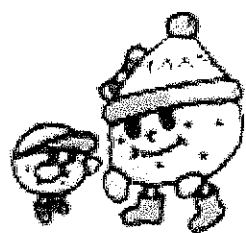


まちづくり倶楽部



ミニコミ

第3号

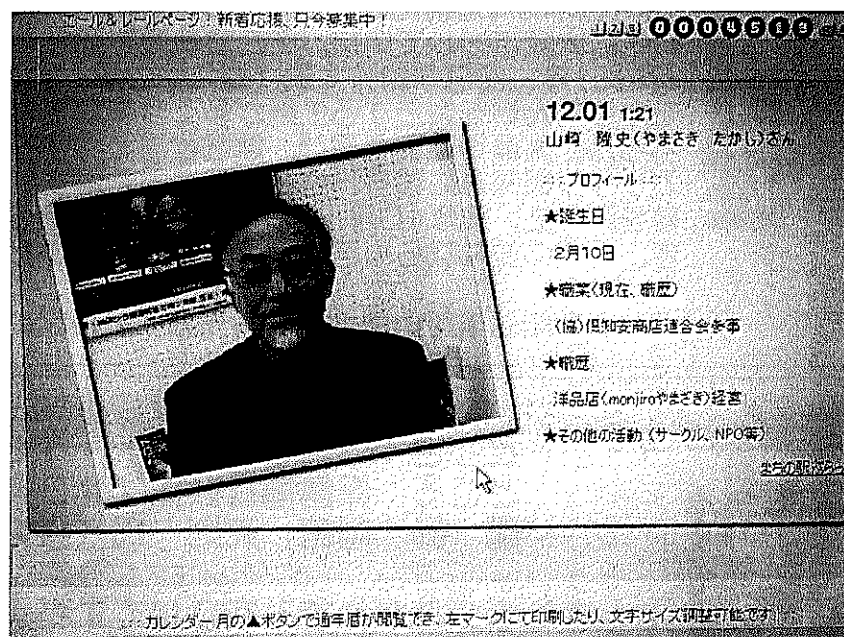
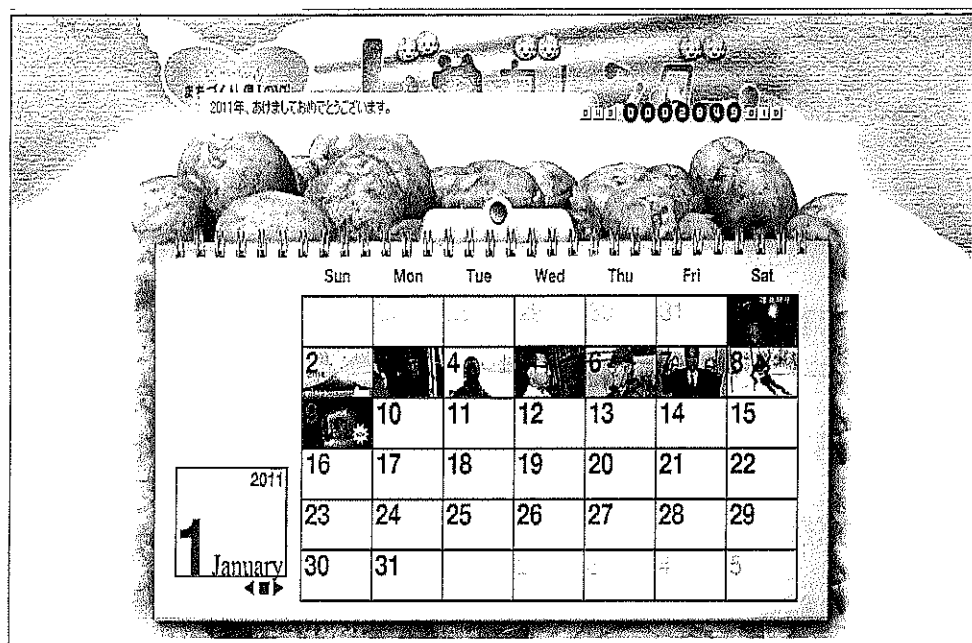


〇魅力発信グループ〇

「じゃガレンダー」もうご覧になりましたか？

日替わりで、倶知安町で生活する人を紹介するサイト、
「じゃガレンダー」が12月1日からスタートしました！
個性豊かな人達の生き活きとした姿、倶知安への熱い想いを
ぜひご覧になってください。

↓ 「じゃガレンダー」HPです <http://jagalendar.com>



「じゃガレンダー」へ参加していただける団体を募集しています！
みなさまが入っているチーム、同好会、サークルなどどんな単位でも
OKですので、「じゃガレンダー」でPRしてみませんか？
詳しくは事務局まで(役場企画振興課 TEL:56-8001)

〇育つ育てるグループ〇

2月20日(日)に雪トピアフェスティバルにて、
ヒューマンカフェプロジェクトとの第1段として
「にこにこcafé」を出店しました。当日はグルー
プホームみまたのみなさんに運営を委ね、多くの
住民に来店していただき大盛況に終了することが
できました。
今後は、にこにこママさんcaféやにこにこア
ムなど住民の交流の場を創っていく予定です。

〇交流グループ〇

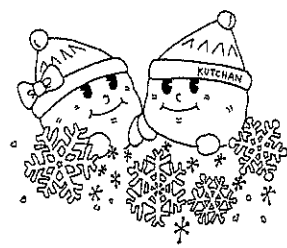
私たちは、このミニコミを発行することで皆さ
んに伝わりづらい情報をお届けする。
そして、その情報が取り持つ縁で人と人との交
流が生まれることを願っています。
情報や私たちの仲間になってくれる人をお待ち
しております。

裏面に続く



NPO法人 ともに

「ともに」はH20.3.3に設立したNPO法人です。地域で暮らす障がい者が安心して生活できる地域づくりをめざして活動しています。具体的には障がいをもたれた方の日中活動支援やグループホーム運営などの住居支援、様々な学習会、講演会等の企画、広報誌の発行などなどです。知る人ぞ知る「みんなで学ぼうシリーズ」は、精神科医が講師となり質問コーナーが大変盛り上がり人気です。3月には全国的に有名な精神科医をお招きし、春の拡大版スペシャルを企画しています。『心の病と薬』のことでお悩みの方、ちょっと聞いてみたい方、是非お越しください。



【春の拡大版スペシャル】

日時：3月5日（土）15：00～18：00

場所：ホテル第一会館 3階 参加費は無料！ どなたでもどうぞ！

内容：薬の話が面白いと有名な秋田県精神科医 稲村茂先生の講演
厚生病院の精神科医（笑い療法士）が司会を務め、地域で活動する精神当事者も活動報告を行います。

NPO法人 **ともに** 事務局 23-2872（北3西2ワークショップようてい内）

「くっちゃん町学校支援地域本部事業」ってご存知ですか？

「地域の先生」

平成20年度から始まった事業で、町内各小中学校の要請を受け、まちの方々に『地域の先生』として学校のお手伝いをお願いしています。

いままで、総合学習の授業に和楽器の演奏やおはじきなどの『昔遊び』、図書整理など、さまざまな分野で子供たちの学習サポートを行っていただきました。倶知安町では、これからは学校からの要請に応じて、「できる人が、できる時に、できる事を!!」を合言葉に子供たちの学習サポートとして『地域の先生』を派遣します。ご自分の技能や経験などを生かして、まちの学校応援をしませんか！



お問い合わせ：公民館 福坂、川埜 0136-22-4151（直通）

「狩太～真狩の簡易鉄道（昭和11年～28年運行）を知っていますか？

羊蹄山麓地域

明治の北海道開拓は、鉄道発展に伴い内陸部に広がっていったが、春にはぬかるみがひどく、馬車での物資輸送に大変苦労していた。そこで軌道を建設し、各自の馬で台車を牽引する交通手段が試みられた。この地にも昭和11年、函館本線狩太駅（現ニセコ駅）と真狩とを結ぶ「簡易軌道真狩線」が運行された。真狩はジャガイモからでん粉を製造する工場が多く、半加工のままの重たいでん粉を狩太駅まで輸送するのに大変活躍した。もちろん、人員や物資も運び、地域輸送における大切な存在であった。当初、馬鉄で運行を開始したが、約1年でガソリン機関車に移行、さらに輸送力も増すが、戦後道路改良と自動車輸送の発達により、昭和28年5月その幕を閉じた。昨年10月、羊蹄山麓地域サポーター事業でその軌跡を辿ったが、全線2年間の手作業の工事と聞き、先人の並々ならぬ努力の跡を見ることができた。



☆今年も羊蹄山麓地域「観光ガイド検定」試験を行います。（7月初級、8月中級、9.10月上級）☆

お知らせ

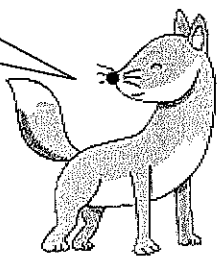
エキノコックス症を知ろう

と き：3月8日（火） 18：00から

ところ：保健福祉会館（北3条東4丁目）

講 師：岡崎 克則 氏（美術館・風土館長）

みなさん、
ぜひぜひご参加ください！



きたきつねがねずみを介してエキノコックスを寄生している状況が全道的にまんえんしています。エキノコックスの卵は川水などに含まれたり、土中に生きていたり、これを人間がはからずも口の中に入れて被害を受けてしまうなどの心配があります。

そのため、きつねのエサの中に虫下しを入れ、野外にまいてエキノコックス被害を防止する活動などが行われています。（ニセコ羊蹄再発見の会 22-6100）

倶知安の時を告げる 「あいの鐘」

昭和30年後半、全国的に子供達が早く家路につくようにとの願いから、「あいの鐘」建設が行われた。倶知安青年会議所が昭和39年4月、役場庁舎建設にあわせて募金活動を開始。建設費用は61万円（町民募金56万、JC自己資金5万）

昭和40年8月10日正午 高橋清吉町長のスイッチで、旧消防本部望楼上の9個のスピーカーからオルゴールの音が響いた。

当時の曲は、

6時「明るい街」
12時「明るい街」
17時「家路」
21時「子守唄」

現在、

6時「アルプスホルン」
12時「ウェストミンスター寺院の鐘」
16時「家路」
18時「アルプスホルン」
21時「子守唄」※いつやめたの？

時を告げるアルプスホルンでも最初は・・・？

「アルプスホルン」に変わったのは平成2年9月からで、町内のアルプスホルン愛好家から『サンモリッツの姉妹都市らしい音色にしては』との声に町が検討し実現に至った。ちなみに、曲名は『青いジュラ山の上から』

さらにうんちくは続く・・・
以前は「サイレンの鳴る町」と呼ばれていた

消防本部：6時 12時 21時

営林署八幡苗圃：7時 16時半

雪印工場：8時半 12時 13時 16時半

S34. 9～

S34. 10～

